

小中学校の先生の方々がバリアフリー等の体験に来られました。 (平成26年7月29日)

千葉県松戸市周辺自治体の小中学校の先生の方々が、ノンステップバスを利用した高齢者疑似体験、車椅子体験、視覚障害者疑似体験を行いました。

体験を通じて障がいをお持ちの方々や高齢者の方々の日常生活がどのように大変で困難であるかを参加者のひとりひとりが理解し、サポートの仕方などの「こころのバリアフリー」を学習することを目的としております。

1. 開催日 : 平成26年7月29日(火) 13:30~16:30
2. 会場 : 関東技術事務所構内
3. 参加対象者 : 千葉県松戸市、野田市、柏市、流山市、鎌ヶ谷市内の小中学校の先生方 16名
4. 体験内容 : ノンステップバスを利用した高齢者疑似体験、車椅子体験、視覚障害疑似体験
5. 実施主体 : 関東運輸局千葉運輸支局、関東地方整備局関東技術事務所
6. 協力 : 松戸市・野田市社会福祉協議会、千葉県バス協会、松戸新京成バス

【高齢者疑似体験】

白内障ゴーグル、ヘッドホン型耳栓、重り、固定具により、80歳の老人になった状態を再現し、ノンステップバスを利用して、「バスでの乗降り」、「料金支払機への小銭の投入体験」、「見る」、「書く」といった日常生活でありがちな体験をしてもらいました。



ノンステップバス



乗降りに際してステップが低くなることについて説明



歩行体験



乗車体験



車椅子の補助体験



障がい者もバスに同じように乗りたい
それには理解と助けが必要

障がい者の「生の声」を聴く

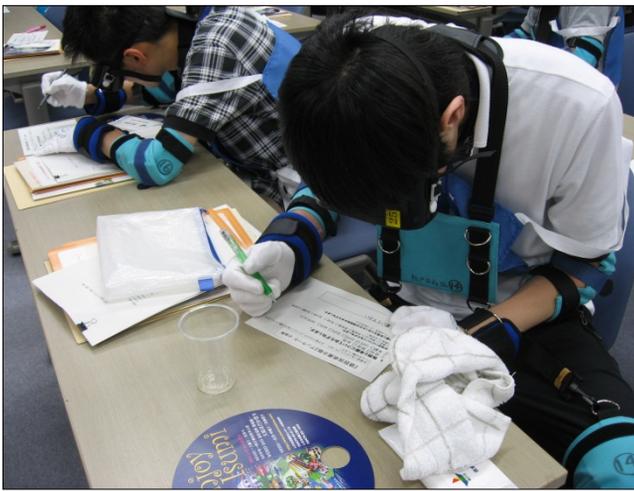


小銭の見分けがつかない



後ろに並ばれたときのプレッシャーを体験

降車の際の料金支払機への小銭投入体験



アンケート記入体験

白内障ゴーグルをつけている為、
文字がぼやけて見えない

【車椅子体験】

車椅子でバリアフリー歩道と障害のある歩道を比べ、足の不自由な人の体験をして頂きました。



段差の越え方の練習と
1cmと2cmの段差板の違いを体験



バリアフリー歩道を体験



障がいのある歩道を体験



体験を通した感想

【視覚障害者擬似体験】

アイマスクと白杖でバリアフリー歩道と障害のある歩道を歩き比べ、視覚障害者の擬似体験をしてもらいました。



杖の使い方



障害物のよけ方



誘導ブロックにより自力で歩く



全盲の視覚障害者



全盲の方の「生の声」を聴く

- 【全盲の方の「生の声」を聴く】
- ・全盲の方は、見え方が「真っ白」か「真っ暗」のどちらかになる。
 - ・困っている人をみたら声かけをして下さい。